

# 《 価値創造の歩み 》

フルハシEPOは1947年に製材製函業として創業し、1956年に木質バイオマスの利用に着手して以来、日本の木質バイオマスのリサイクルを黎明期から支えてきました。2008年以降はバイオマス発電事業に参画しており、これからも既存の枠組みにとらわれず、常に挑戦を続けてまいります。



■ 川崎バイオマス発電(株) (2008年)



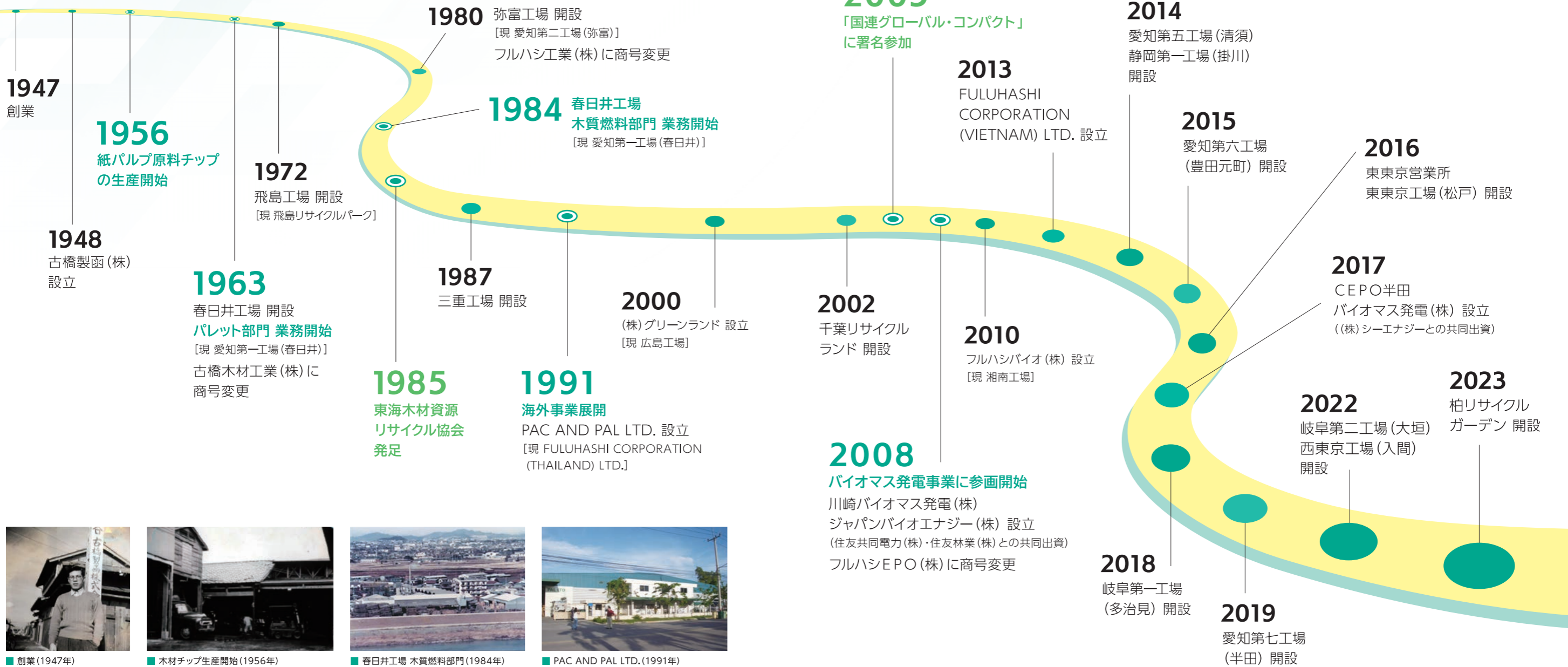
■ CEPO半田バイオマス発電(株) (2017年)



■ 岐阜第二工場(大垣) (2022年)



■ 西東京工場(入間) (2022年)



■ 創業(1947年)



■ 木材チップ生産開始(1956年)



■ 春日井工場 木質燃料部門(1984年)



■ PAC AND PAL LTD.(1991年)

## ◆ 当社に関わる社会の動き

1967 「公害基本法」制定

1971 環境庁 設立

1973 第一次オイルショック

1979 世界気候計画 採択、第二次オイルショック  
「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」(省エネ法) 制定

1988 気候変動に関する政府間パネル(ICPP) 設置

1991 「資源リサイクル法」制定

1992 地球サミット 開催

1994 気候変動枠組条約 発行

1997 京都議定書 採択

1999 「地球温暖化対策の推進に関する法律」施行

2001 環境庁から環境省へ再編

2005 京都議定書 発行  
愛知万国博覧会(愛・地球博) 開催

2015 パリ協定 採択  
持続可能な開発目標(SDGs) 採択

2020 日本が2050年までの脱炭素社会の実現について表明